

令和7年度長島町消防入退団式

4月20日、町文化ホールで長島町消防団の令和7年度入退団式が行われました。

今回53人が退団し、43人が入団。総員277人体制で新たなスタートを切りました。



感謝状を受け取る町口前団長



宣誓する高橋団員



新幹部へ辞令を交付

式典では、消防団員の辞令交付や、長期にわたり消防団活動に取り組んだ退団者に感謝状を贈呈しました。

新入団員を代表して高橋大希^{たいき}団員（中央分団）が「忠実に消防の任務を遂行します」と力強く宣誓し、門元則文団長（蔵之元）が新体制の幹部および新入団員に辞令を交付しました。

川添健町長は団員に向けて「関係者には地域の安心安全のため尽力いただいていることに感謝。町としても消防団の教育や資材設備整備の充実を図っていく」とあいさつしました。

退団者を代表して町口孝治前団長（小浜）が「消防団は地域住民の生命身体および財産を災害から保護する任務がある。退団者一同これからも消防団をサポートする。48年間の活動では、活動服に袖を通すたびに身の引き締まる思いだった。支えてくれた関係者に感謝する」とお礼の言葉を述べました。

新団長あいさつ

令和7年4月1日付けで長島町消防団長を拝命しました門元則文です。

消防団長という職責を全うするにあたり、もとより微力の身ではありますが、団員の力強い協力を得ながら誠心誠意努力していきます。

大規模化、多様化する災害から地域の安全を守るためには、消防力の強化はもちろんです。地域防災力の強化が最も重要となります。

その中核となる消防団は、近年、団員数の減少や高齢化が全国的に進行しており、町でも団員数の確保に苦慮しているところです。出動団員を確保するた

門元氏を任命

め、方面隊体制の確立や消防団応援隊の創設などさまざまな施策に取り組みますが、今後地域が一体となった防災力強化を推進するため、消防団による防災教育の充実や女性の防災分野への積極的な参加を促す機会創出など、自助・共助の充実に一丸となって取り組んでいきます。

もちろん町民の皆さんのご協力なくして成しえるものではなく、町民や関係機関、地域、企業と、より一層連携を深めていきますので、皆さまにも、これまでと変わらぬご理解と厚いご支援を賜りますようお願いいたします。



入退団式で訓示を述べる門元団長